

## 患者さんへ

現在、当施設では北海道内の複数施設との共同で以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめるものです。この案内をお読みになり、ご自身がこの研究の対象者にあたると思われる方の中で、ご質問がある場合、またはこの研究に「自分の情報を使ってほしくない」とお思いになりましたら、遠慮なく下記の研究担当者にご連絡ください。

### 【研究課題名】

「腎生検症例の予後関連因子同定に関する多施設共同後ろ向きコホート研究」

### 【研究責任者】

札幌医科大学 循環器・腎臓・代謝内分泌内科学講座 助教 長南 新太

### 【研究の目的】

腎臓病が発症し、増悪する原因は未だ十分に解明されておられません。そのため腎臓病が増悪することを抑制もしくは改善させる治療法も現状では十分に確立されておられません。今回、我々は腎生検が行われた腎臓病の患者さんを対象に、腎生検の血液・尿検査のデータや腎臓の組織を詳細に検討し、その後の治療法を含めた経緯を追跡調査することで、今後の腎臓病患者さんの管理・治療法の確立を目指します。私たちはこの研究によって、今後の腎臓病の診療をよりよくしていきたいと考えております。

### 【対象の患者さん】

2005年4月1日から2025年3月31日までの期間に当院で腎生検検査を受けた20歳以上の方

### 【利用するカルテ情報・試料】

診断名、年齢、性別、臨床及び腎組織で得られる診断名、診断に基づいて行われる治療内容、血液及び尿検査項目の数値および腎生検によって診断の際に使用された腎臓の組織

### 【研究期間及び予定登録数】

病院長の承認日から2030年3月31日、当院700症例（全体2000症例）

### 【個人情報の取り扱い】

お名前、ご住所などの個人を特定する情報につきましては厳重に管理を行い、学会や学術雑誌等で公表する際には、個人が特定できないような形で使用いたします。2005年4月1日から2025年3月31日までの期間に腎生検検査を受けた方で、この研究に診療データを提供したくない方は、2030年3月31日までに下記へのご連絡を下さい。途中で参加を取りやめた場合は、あなたに関わる研究結果は破棄され、診療記録などもそれ以降は研

究目的に用いられることはありません。ただし、ご連絡いただいた時点で既に、研究結果が論文などに公表されている場合や、研究データの解析が終了している場合には、解析結果等からあなたに関するデータを取り除くことが出来ず、研究参加を取りやめることが出来なくなります。データの蓄積により、治療法の再考慮の必要性が示唆される知見が得られた場合には、その旨、外来診療を通じて主治医からの説明がある場合があります。

【問合せ先】

〒060-8543 札幌市中央区南1条西16丁目 札幌医科大学 循環器・腎臓・代謝内分泌内科学講座

【平日 Tel (011)611-2111 内線 32250 (教室)】

【休日・時間外 Tel (011)611-2111 内線 32320 (11階北病棟)】

担当：

研究責任者：長南 新太

研究分担者：田中 希尚、矢野 俊之、小松 弘明

【共同研究施設名称及び各施設の研究責任者】

・手稲溪仁会病院

腎臓内科 主任部長 茂庭 仁人

泌尿器腎センター長 滝沢 英毅

・JR 札幌病院

腎臓内科 部長 富樫 信彦

・帯広厚生病院

循環器内科 主任部長 高橋 亨

・函館五稜郭病院

腎臓内科 科長 金子 尚史

・株式会社ユーロフィンジェネティックラボ

病理診断部 部長 小川 弥生